



Newsletter

はぐくみ企業年金と企業型DC——比べてみると、やっぱり企業型DC！

退職金制度として、はぐくみ企業年金と企業型確定拠出年金（企業型DC）の名前を耳にする機会が増えました。どちらも老後資金づくりを目的としていますが、**誰がリスクを負い、どれだけ資産形成が期待できるか**が大きく違います。

はぐくみ企業年金は制度上は確定給付（DB）型で、**将来の給付額を会社が約束し、運用の責任も会社が負います**。利回りは国債の水準にほぼ連動するため、資産が増えやすい制度とは言えません。「**従業員に投資をさせたくない**」「**役員だけ多く積み立てたい**」といったニーズには対応しやすい仕組みです。

企業型確定拠出年金は毎月の掛金を確定させ、**従業員一人ひとりが投資信託などから運用商品を選びます**。**会社は掛金以上のリスクを負わず**に済み、従業員は元本確保型や長期の成長を目指す世界分散型ファンドなど、**自分に合ったリスク水準を選択可能**です。

導入・運営コストは、はぐくみ企業年金と企業型DCで大きな差がないケースも多く、「**費用の多寡**」だけでは優劣がつけづらくなっています。むしろ、「**会社がどこまでリスクを抱えるか**」「**従業員にどこまで資産形成のチャンスを開くか**」という視点で、**自社の“軸”をどこに置くかを決めることが重要**です。基本線としては、**従業員全体の退職金制度は企業型DC**、とくに**原資を増やさず始められる選択制DC**を土台に据え、必要に応じて**経営者向けの別枠としてはぐくみ企業年金を検討する**、という発想になります。

まずは、自社の退職金制度を「企業型DCを前提とした設計」にするかどうかを、採用・定着や人件費の将来像と合わせて検討してみることが大切です。

＼ DCの方が資産を大きく育てるチャンスがある！ ／

	企業型DC (総合経営サービス型)	はぐくみ
月額掛金	3,000～55,000 円	1,000円～ 基本給・役員報酬の20%まで (上限40万円)
運用商品の選択	自由に選べる 投資信託等 + 元本確保型	選べない
資産の成長	期待できる	大きくは期待できない※
運用責任	従業員本人	企業
投資教育	努力義務 (マウンティンがサポート)	義務なし
受取	原則60歳以上	退職、休職、 育児・介護休業時

はぐくみ企業年金の利回り：2025年度は0.3%
(前年の10年国債平均利回りの①1年平均と②5年平均のいずれか低い方)



毎月2万円を25年間拠出した場合
利回り：企業型DC＝年5%、はぐくみ＝年0.3%で計算

🔔 次号予告 (2025年12月号)

今回は、「そもそも投資って何？ ギャンブルとどこが違うのか」をテーマにお届けします。投資の前提を押さえたうえで、企業型DC（とくに選択制）を導入することが、自社の人事・退職金戦略にどんな意味を持つのかを整理します。



企業型DC
特設サイト

CLICK



資料請求は
こちらから

CLICK



マンガが動画になりました！

企業型DC導入支援実績 **1,000** 社！

株式会社マウンティン
(SOKEI DC Alliance)

☎ **03-3911-4649**